

# 初めて始めるパソコンⅡ

## 第六回

# 年賀状作成「ワード」Ⅲ とデジカメ



平成 24 年 10 月 11 日

10:00 ~ 12:00

中央公民館 尾張旭市民塾

〒488-0803 尾張旭市東大道町山之内2410-2

TEL: 0561-54-5300

尾張旭市民塾資料

作成 年月日：平成 24 年 10 月 08 日

取扱	件名	第六回「初めて始めるパソコンⅡ」 資料				
	概要	尾張旭市民塾で八回の講座を開催します。 その講座内容を資料化したものです。				
改定履歴	2012-10-08 佐久間					

全体目次					
第四回講座	文書作成「ワード」Ⅰ A、起動方法 B、文書作成の練習 C、文書保存・印刷・開く D、テンプレートの活用 E、印刷してみましょう	第五回講座	文書作成「ワード」Ⅱ A、文字の修飾 B、文字の配置、段落 C、図、図形、クリップアート D、ページレイアウト	第六回講座	年賀状作成「ワード」Ⅲとデジカメ A、年賀状作成 B、画像編集 C、デジカメと画像 D、年賀状に画像応用

第六回 講座

文書作成「ワード」Ⅲ

前回の復習と追加  
マウスやキーボードから入力して、ワープロ文書を作成しますが、その操作には順番がありました。  
【操作の手順】

**重要 !!**

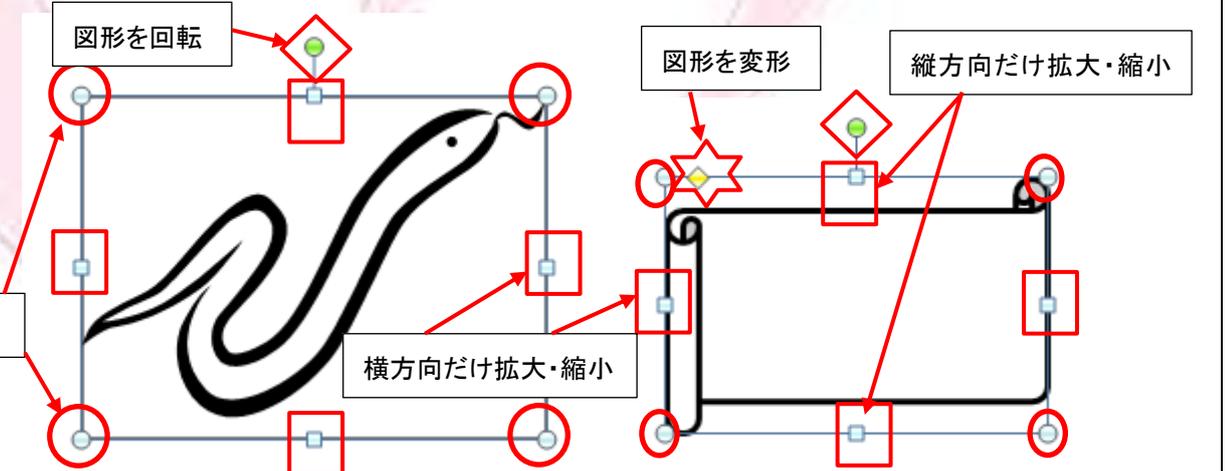
**操作の対象を先に選択する**

①対象を作成する    ②その対象を選択する    ③何かの編集操作を加える  
の順番はいつも同じです。

対象が既にある時は、②の対象を選択してから操作します。この時の「選択」はクリックの場合もありますし、ドラッグの場合もあります。

**講座では「ワード」で「操作」の順番とマウスポインターについて、学習しました**

【ハンドルやマウスポインターの形】  
図や図形などで操作の対象を選択する時、ハンドルが表示されます。そのハンドルでどのように操作するかについて ご紹介しました。  
下記の図形では、丸や四角で囲った部分がハンドルです。



この操作をする時、マウスをハンドルに近づけると、ポインター形状が変化します。そのポインター形状を絵文字としてご記憶願います。

【ポインターの形状と、その意味】

	普通の形	
	リンクの形	インターネットなどで、他に情報が埋め込まれている時、表示される
	テキストの間にある時の形	「ワード」等でテキストの上にある時、表示される
	特殊な選択	ソフトにより意味合いが異なるが、特殊な選択をしている時示される
	縦・横のサイズ	一方向だけ サイズ変更の時示される
	図の縦横サイズ	全体にサイズを変更する時、示される



講座では

「ワード」でご説明していますが、マウス操作の共通性を説明しています

文字飾りの操作では、頻繁に現れるものではないですが、ハンドルとポインターの変化に注目してください。タブにあるコマンドの絵文字と同じで、操作方法を暗示していたり、クリック、ドラッグの操作で何かの動きがあったりすることを示しています。これらの変化は、他のソフトでも共通していることが多いのです。ここで、その意味合いを会得すると、聞いたことの無いソフトでも操作の勘所を掴むことが出来ます。上達の早道です。

【追加：選択】

連続して選択する方法と飛び飛びに選択する方法(文字の反転部分を注目)

連続して選択する

ています。これらの変化は、他のソフトでも共通していることが多いのです。ここで、その意味合いを会得すると、聞いたことの無いソフトでも操作の勘所を掴むことが出来ます。上達の近道です。

1 最初に一部をドラッグで選択します

「シフト」キーを押しながら最後まで  
での位置を**クリック**

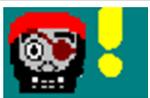
2

ています。これらの変化は、他のソフトでも共通していることが多いのです。ここで、その意味合いを会得すると、聞いたことの無いソフトでも操作の勘所を掴むことが出来ます。上達の近道です。

飛び飛びに選択する

「コントロール」キーを押しながら  
選択部分だけを**ドラッグ**

2



講座では

マウス操作の共通性を説明しています。他のソフトでも、有効です

ています。これらの変化は、他のソフトでも共通していることが多いのです。ここで、その意味合いを会得すると、聞いたことの無いソフトでも操作の勘所を掴むことが出来ます。上達の近道です。

【コピー、切り取り、貼り付け】

既にあるものを、再利用することは良くあります。そこが電子ファイルの良い所で、簡単に再利用(コピー)、貼り付け(ペースト)が出来ます。貼り付けのためには事前にコピーするので、「コピーアンドペースト」とも呼んでいます。ここでも、ウィンドウズ操作の共通性を学んで下さい。

文字、画像、図形、表、等のどんな部品も「コピーアンドペースト」が利用できますし、ファイルごとコピーすることも出来ます。

コピーと貼り付けの方法がお分かりになりましたら、前に講義しました「連続して選択する」と「飛び飛びに選択する」を利用して、「ワード」を立ち上げて、編集してみましょう。

新しく文字をタイピングして頂くか、前回の文書ファイルを立ち上げて練習してみましょう。



文字、画像、絵、等  
コピーアンドペースト  
しましょう

**ワードやエクセルの場合**

**他の場合**

A、年賀状作成



「ワード」の機能を  
活用して年賀状を  
作成してみましょう

ワードでは、年賀状を意識して便利な機能があります。「差し込み文書」のタブを選択してください。年賀状のアイコン(絵文字)が出てきます。

「はがき印刷」を選択すると「宛名面」(表)か「文面」(裏)を選べるようになります。次頁から、「文面の作成」について取り組みます

# 文面の作成

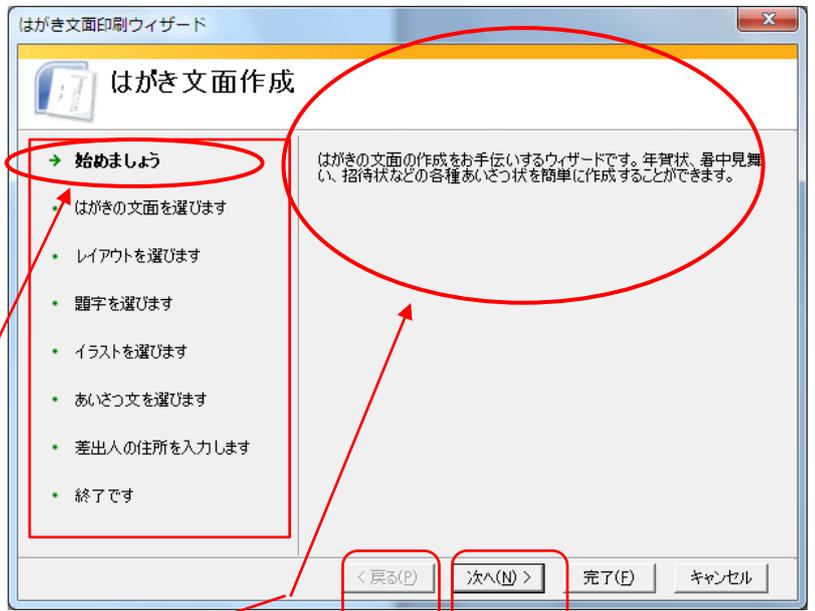


## 講座では

ウィザードを使い、年賀状を作成します

「ウィザード」機能は、簡単な操作で完成度の高いものを作成できるのが味噌です。

パソコンがユーザに問い掛けるように順番に質問を投げかけ、それに答えていくと操作を完了する方式のことです。試してみましょう

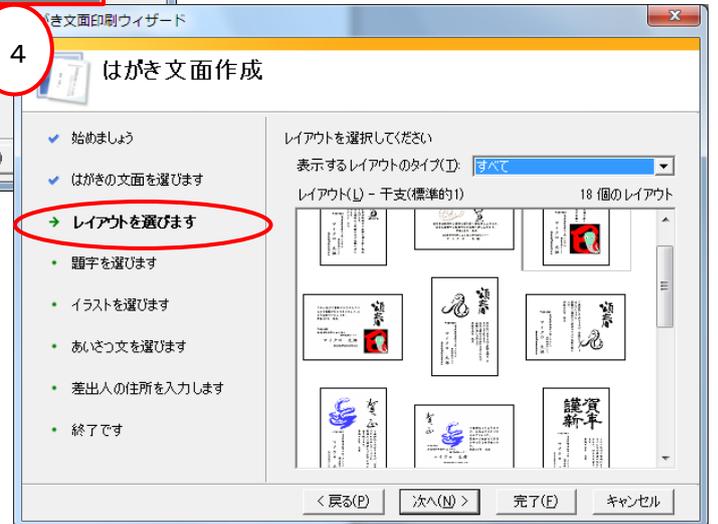


1 最初は「はじめましょう」と表示されます。その説明が右に出ます。この左右の組み合わせで進行していきます。設定を戻すには「戻る」を選択して、やり直します。進行させるには、「次に」を選択します

2 続いて「次へ」を選択しますと、次の「はがきの文面を選びます」の質問に進みます。この画面では右側で「年賀状」「暑中/残暑見舞い」「招待状」「その他のあいさつ状」のどれを選ぶかと質問してきます。どれをか、一つしか選択できません。どれかを選ぶと、他の選択からプレビュー画面が変わります



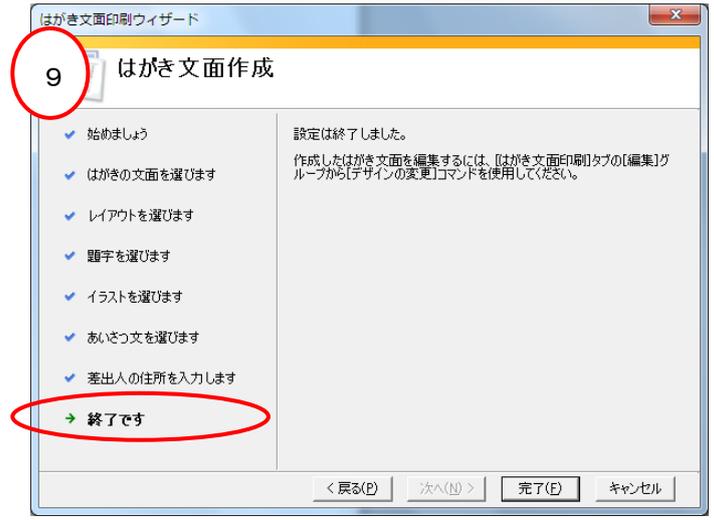
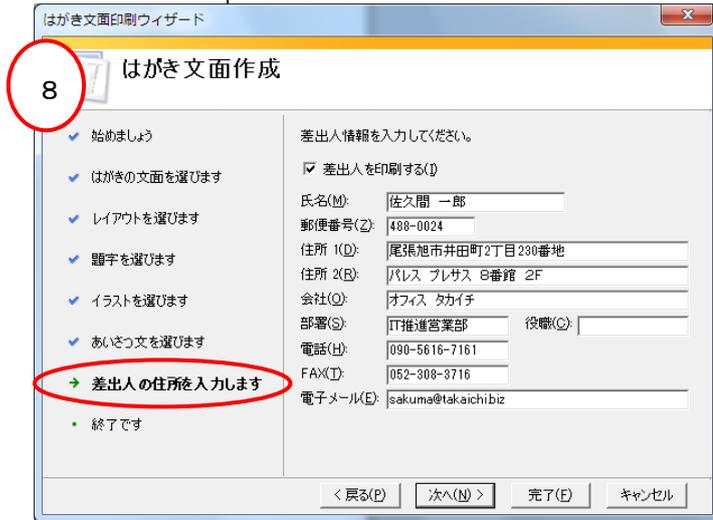
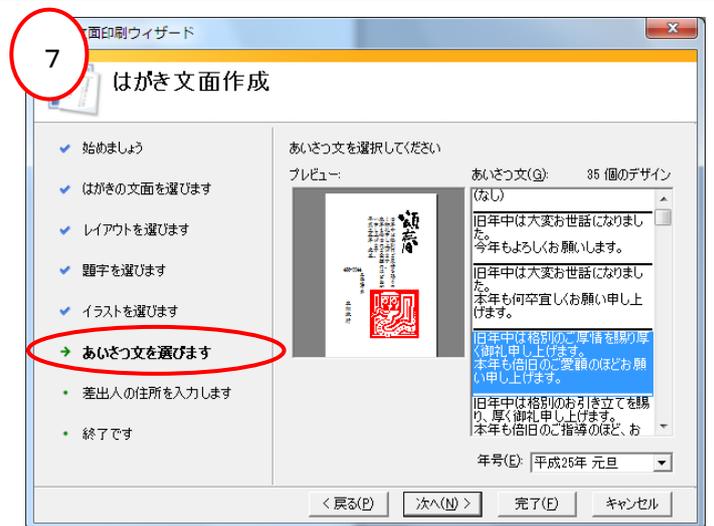
プレビュー画面



プレビュー画面

選択を変えて、その効果をプレビューで確認しながら進めます





「ウィザード」の威力をお感じにられましたか

簡単に年賀状が出来ました。次は、「宛名面」です。3頁の「差し込み文書」に戻って、作成します。

このような強力な「ウィザード」がたくさんあれば、助かるのですがまだまだ、それ程の種類が無いのが残念です。先々回の「ワード I」でご紹介しました「テンプレート」や今回の「ウィザード」は、パソコン利用者にとって期待したい機能で、「ワード」のバージョン(版)が進むにつれて充実してきました。何か、着せ替え人形のように、部品を付け替えるだけの作業で完成度の高い作品が出来るのは楽しいですね。人の代わりに面倒な事をこなしてくれるのが、機械本来の役目です

完成

尾張旭市井田町二丁目二三〇番地  
パレスプレサス 八番館 二F  
オフィス たかいち  
IT推進営業部

〒488-0024

佐久間 一郎  
Tel: 090-5616-7161  
Fax: 052-308-3716  
sakuma@takaichi.biz

旧年中は格別のご厚情を賜り厚く御礼申し上げます。  
本年も倍旧のご愛顧のほどお願い申し上げます。

平成二五年・元旦

頌春

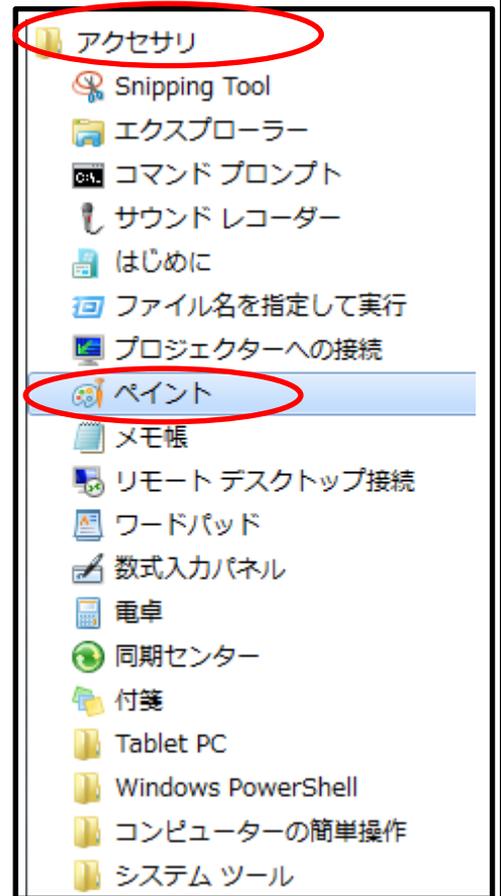
## 2、宛名面の作成

「宛名面の作成」も同様にウィザードが用意されていますが、前もって「エクセル」などで「差し込み文書」用の「住所録」を用意しておく必要があるため、今回は省略させていただきます。このウィザードを利用して、宛名面を作成すると、市販の「年賀状ソフト」にも負けないくらいの機能が盛り込まれています。

## B、画像編集

年賀状作成では、「ワード」の中で前もって用意されていた画像を使用しました。次は、オリジナル画像とか、写真を使うことを考えましょう。画像編集は、専用ソフトを使いますが、今回の講座では、どのパソコンにも入っている「お絵かきソフト」の「ペイント」を使いましょう。

「ゲーム」をする時と同じ操作で「ペイント」を起動させます。パソコン画面左下から「スタート」「すべてのプログラム」「アクセサリ」「ペイント」で起動します。起動した画面の説明が下図です。



レッスン

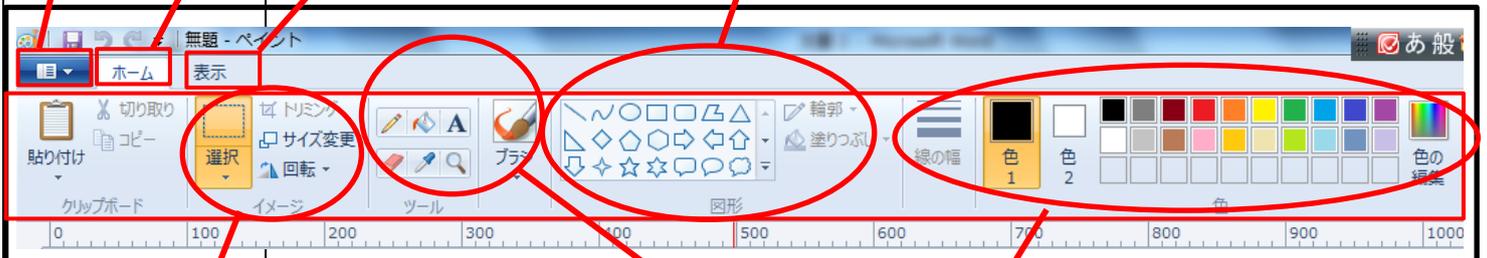
お絵かきソフト  
を起動させてみ  
ましょう

もっとも使用することの多い  
タブ「ホーム」です

挿入できる「図形」が並んでいます

画面の大きさなどを変化さ  
せるタブ「表示」

ファイル処理タブ



「絵」を選択して、サイズ変更や回転させる機能が  
あります

絵具としての色を選択できます

お絵かきするツール(道具)があります。描く筆や  
ペンの種類を選択できます

「ワード」なら文章を作成しますが、「お絵かき」ツールですから、画面の下部は白いキャンバスになります。本物の絵を描くのと同じように、ペンや筆が何種類か用意されていて、色数も豊富にあります。フリーハンドでも良いですし、図形を指定すれば定形の図を指定できます。色塗りは、スプレーで吹き付けたりペンキを流したりして描けます。上手く描けなかったときは、電子ファイルですから「元に戻す」を使えば良いのは「ワード」と同じです。消しゴムもあり、なぞった所が消えます。

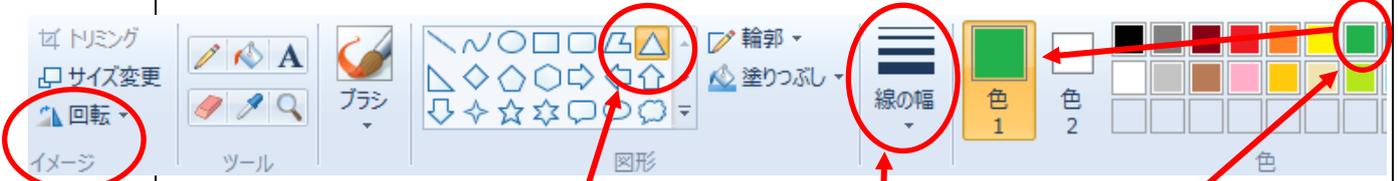
写真を貼り付けて置いて、文字を追記して説明文とすることも出来ます



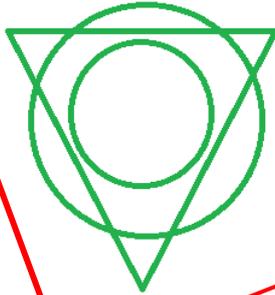
起動させた「ペイント」で描いてみましょう



尾張旭市の市章は左の画像の通りですが、市のホームページに「昭和32年10月旭町議会で制定され、市制施行後も引き続き市章としています。旭の『ア』の字が三つ丸く連なり、市民の団結と発展を示しています」と紹介されています。この絵を見本として、「ペイント」で描いてみましょう。



1



線の幅を「中」程度(5px)に選びます。  
色1を「緑」を選択します。  
図形は、「三角形」を選び、後で180度回転させます。  
回転させるには「イメージ」のグループにある「回転」コマンドを選択します。

次に「楕円形」を選択して重ねます。  
描画は「ワード」で図形を描いた時と同じ要領です。キャンバス内で最初にクリックした地点が図形の左上になります。ドラッグして放



2



次は、部分的に「塗りつぶし」します。  
ペンキのアイコンを選択してキャンバスにマウスを移動させると、マウスポインターの形がペンキ入れの缶の形になります。

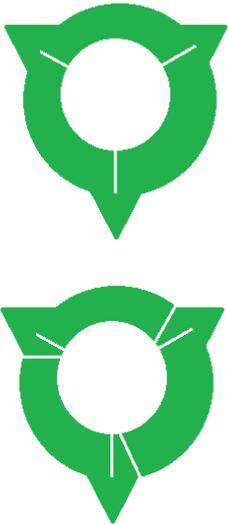
「塗りつぶし」したい部分でクリックすると、その部分の色が指定された「色1」で塗りつぶされます。

「塗りつぶし」では、境界がある部分の内部が塗られます。上手くいかない時は、いつもの「元に戻す」でやり直します。「ワード」と同じく左上の「クリックアクセスツールバー」にアイコンが配置されています。

また、「色2」は背景色や消しゴムの色を指定します。今回は使用しません



3



次は、放射状に白い線を入れます。

白い線を入れるには、パレットの「色1」で白色にします。

描画は「ワード」で図形を描いた時と同じ要領です。図形が「直線」でも同じです。キャンバス内で最初にクリックした地点が図形の左側になります。ドラッグして放した位置が図形の右側になります。放射状に「直線」を入れたら、完成です



**市章などのロゴの作成に応用できました**

### C、デジカメと画像

最近、デジタルカメラは高性能で低価格のお値打ち品がたくさん出回るようになりました。写真を画像として、編集したり書類に差し込んだりすることができます。簡単に方法を学習しましょう。

まず、デジカメで撮影した写真をパソコンに取り込む必要があります。デジカメとパソコンをつなぐためには、下記の「USBケーブル」で接続します。このケーブルはデジカメを購入する時に付属しています。



レッスン

**デジカメを文書に使いましょう**



デジカメ接続用のUSBケーブル。

両端が見えていますが、小さい方をデジカメに接続します。

デジカメが小さいので、普通のUSBケーブルのコネクタよりもコンパクトで、専用です



パソコン側のUSBケーブル差込口



デジカメとの接続

パソコンとデジカメを接続しますと最初の一回だけ、違う画面が出ます。そのデジカメがどういう製品かパソコンの方で認識する必要があるからです。この「認識する」とは、パソコンとデジカメが通信する時、お互いにデータをやり取りする方式、方法を確認する事です。認識作業はソフトで行いますが、このソフトを「ドライバー」と言い、デジカメ製造メーカーが作成してパソコンに理解させる仕組みになっています。この「認識」画面は機種により違いますので、説明を省略します。以下の図は、「認識」終了後、接続するたびに表示されます。



パソコンが立ち上がっている時、ケーブルを接続してデジカメの電源を入れます。デジカメ側で、「パソコンと通信」等の選択をしますと、この画面になります。「読み込み」ボタンを選択しますと、デジカメとパソコンが通信を始めます

### 「フォトギャラリー」

この画面は、デジカメ接続後に自動的に表示されます。立ち上げ方法は「スタート」「すべてのプログラム」「Windows Live」「Windows Liveフォトギャラリー」と選択します。

「ワード」や「ペイント」と同じようにリボン、タブ、グループ、コマンドと 操作する アイコン(絵文字)が並んでいます。



D、年賀状に画像応用

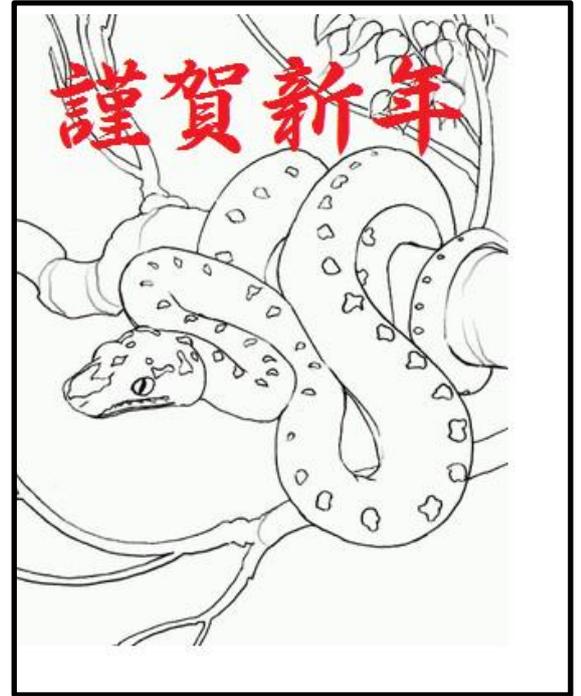


年賀状用の画像を作成します

「ペイント」を使って年賀状の素材を作成してみました。

インターネットにある「蛇」の画像を下敷きにして、その中に「謹賀新年」と「年号」を入れ、画像に着色してみたものです。

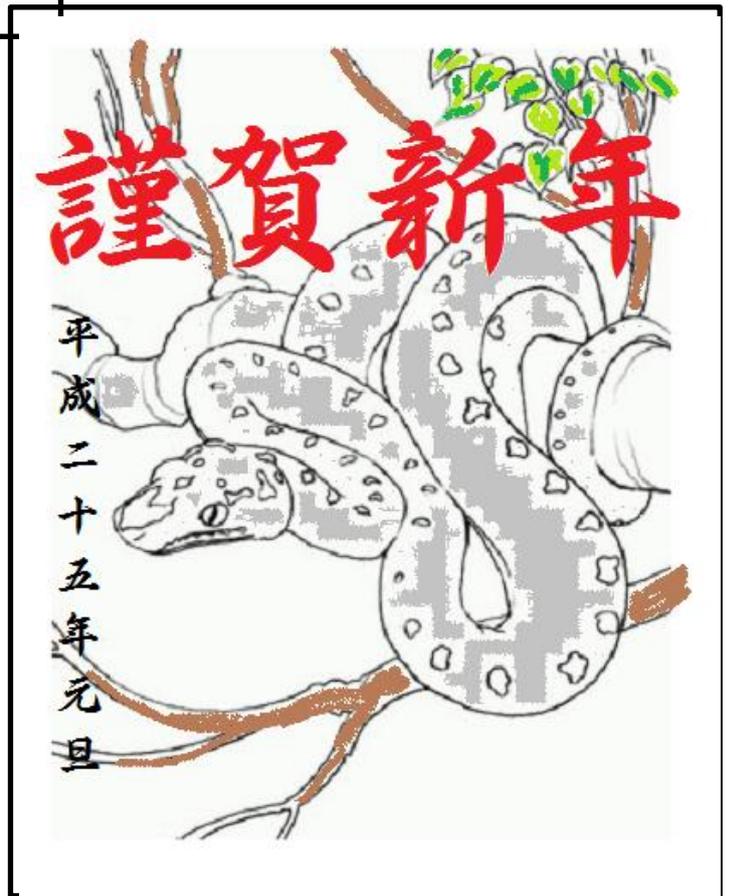
「お絵かき」ソフトと言いますから、塗り絵のようにして作ります。



上の絵は、インターネットで素材として探しました。

「謹賀新年」は文字の書体(フォント)をお正月らしい筆で書いたようなものにし赤色でお目出度さを出しました。電子ファイルで作成すると便利な所は、一枚を丁寧に描けば、それを複製して多数を作成できることです。いくら手作りでも、枚数が多くなれば労力がたいへんです。

来年は「巳年」ですが、干支の絵を、版画やペン画、絵手紙等で書くのも良い作品になりそうです。その原画から電子ファイルが作成できます。皆様のお得意のやり方で、オリジナルな年賀状が出来たら楽しいと思います



第六回講座は、年賀状のウィザードと画像に取り組みました。お疲れ様でした。本講座は残り二回となりました。次回 第七回講座では、これまでのおさらいとして「続」版とか「続々」版を予定しようか、それともパソコンの定番で表計算ソフトの「エクセル」をお試し頂こうかと考えています。是非とも、参加のほどお願いします。

